

## 令和8年7月番組審議会・議事録

開催日時 令和8年7月31日（金）17:00－18:00

開催場所 佐賀シティビジョン 会議室

### 出席委員（敬称略）

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 福田伸裕  | 赤松まちづくり協議会 会長             |
| 志波幸男  | 元佐賀県統括本部 副本部長             |
| 田中丸雅夫 | (株)佐賀玉屋 相談役               |
| 田中 淳  | (株)ネットコムBB 営業本部佐賀本店営業部副部長 |
| 中村 隆  | (株)ぴ〜ぷる 代表取締役社長           |
| 草場真智子 | 佐賀市男女共同参画ネットワーク会長         |
| 中尾朱実  | 佐賀ビッグフット副代表               |

### 社側出席者

|       |                |
|-------|----------------|
| 古賀一彦  | 代表取締役社長        |
| 江口義弘  | 総務部部長兼制作部部長    |
| 中尾 剛  | 制作部制作課課長       |
| 最所美由紀 | 制作部制作課アナウンス係課長 |

### 佐賀市出席者

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 白武正孝  | 佐賀市役所 政策推進部 中山間地域振興課 課長   |
| 前田賢一郎 | 佐賀市役所 政策推進部 中山間地域振興課 支援係長 |
| 吉田彰子  | 佐賀市役所 政策推進部 中山間地域振興課 政策主査 |

### 議事

1. 冒頭社長古賀より、発生した熊本地震について「今週は熊本で震度7を超える地震がございました。現在も搜索活動や避難生活が続いているかと存じますが、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。」と触れ、弊社は「ぶんぶんテレビはここが違うコミちゃん」をスローガンとして番組制作に取り組んでおります。本日は制作部の新しい取り組みもご紹介いたしますので、委員の皆様から忌憚のないご意見を伺い、より良い番組づくりに繋げて参りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。と挨拶。  
出席された委員の皆様をご紹介させていただいた後、制作課中尾より当社自主制作番組の取り組みを紹介し、番組を視聴していただきました。

## 2. 番組視聴及び取り組み紹介

～ここが違うコミチャン～

### 【プロスポーツ生中継】

- ・佐賀バルナーズ アウェイ戦全試合生中継

### 【地元スポーツ生中継】

- ・都市対抗県内一周駅伝 三日間生中継
- ・さが桜マラソン2026生中継
- ・佐賀県高校総体
- ・全国高等学校野球選手権佐賀大会 開会式～決勝戦

### 【特別番組】

- ・小城市議会議員選挙開票速報
- ・佐賀城下米の国まつり生中継 SAGA 久光スプリングス優勝パレード

### 【情報番組ぶんぶんワイド強化 新人アナ出演中！】

- ・新人アナウンサー3名入社 坂本連太郎・川原梨穂・鷺あかり

### 【ケーブルテレビ九州番組コンクール 優秀賞受賞】

- ・がばい調査したる隊 もう作るしかない！佐賀のお米ができるまでをがばい調査

### 【カメラで街なかぶらり】

- ・富士町 上熊川編

## 委員より出された意見（要約）

- ・行政放送についてですが、全国的に紙の「市報」は、配達員や地域連絡員の方々の負担、予算の問題から徐々に縮小する傾向にあります。通信やケーブルテレビ側に移行する動きが出てきていますが、佐賀市としてはどのようにお考えでしょうか。ぶんぶんテレビとしても、番組内で市の情報を取り上げる際、市報の内容にもう少し寄り添っていくことで、市民へのアプローチがより強くなるのではないかと思います。紙の配達を減らして通信や設置場所での配布に切り替える際、もう一つの手段として「テレビでお知らせする」という形は重要になってきます。配達が困難になったり、紙で見ることができなかつたりしても、テレビであれば見られるという市民も多いはずで。市報の情報配信については、ぶんぶんテレビと市がタッグを組んで市民の末端まで伝える役割を担っていくべきだと考えます。（中村委員）
- ・行政情報について、我が家には小学生の子どもがいるのですが、自治体からの連絡で「情報が届きました」と通知が来るとみんな確認します。「いつでも見に来てください」という掲載方法ではなかなか見に行かないので、佐賀市の行事や募集情報などピンポイントで「届きましたよ」と知らせてくれるようなプッシュ型のアクションがあると、より分かりやすく市民が見るようになると思います。「がばい調査したる隊」も素晴らしい番組ですので、今後も継続して放送していただきたいです。（中尾委員）
- ・「カメラで街なかぶらり」は面白く視聴しているが、取材から放送までのスケジュール（前週取材・翌週放送等）を考慮し、事前告知や予告を行うことで、より多くの市民に見てもらえるのではないのでしょうか。

防災について先日の地震もありましたし、これからは台風などで水位が上昇する季節になります。百貨店という立場から見ると、お客様や従業員は佐賀市内だけでなく武雄や小城など周りの地域からも大勢来られます。行政単位での防災情報は入ってきますが、市境を越えた周辺

地域の安全情報（川の浸水状況など）がなかなか入ってきません。現状では、JR 九州が運行を止めるかどうかで判断するしかない状態です。小城市や神崎市など、商圈として重要な周辺自治体とケーブルテレビで連携し、広域的な防災情報を流していただけると非常に助かります。（田中丸委員）

- ・ 番組を見ていると映像が以前より非常に綺麗になってきていますね。スポーツでの佐賀県の活躍を取り上げるのも非常に良いことです。

地震や台風は人の力で防げませんが、事前の準備によって「減災」することはできます。自主制作番組などを活用し、家具の固定や火災警報器の点検といった具体的な防災・防火の準備について、何度も繰り返し放送して周知してほしいのです。広報紙などの印刷物は見落とされがちですが、映像であれば印象に残ります。災害時、一目で全体像を把握できる監視カメラ（定点カメラ）の映像は非常に助かります。主要河川や地域ごとの詳細な情報を集約できるよう、カメラの設置数をさらに増やしてほしい。（志波委員）

- ・ 「さが桜マラソン中継」7 時間 25 分に及ぶ長時間の生中継は非常に大変だったと思うが、家族が出場している様子も映り、録画して大変良い記念になった。感謝申し上げます。

災害時に避難所で一番困るのは「トイレ」だと言われています。水や食料の支援は届きやすいのですが、トイレの設置には時間がかかります。「佐賀はそんなに大きな被害がないから大丈夫」と他人事に捉えてしまう方も多いのが実状です。ぶんぶんテレビの番組でも、「こういった持ち出し用の防災グッズがあります」といった紹介をしていただけると非常に嬉しいです。（草場真知子委員）

- ・ テレビをつけた際にすぐ市内の状況や河川の水位が分かるよう、データ放送や河川カメラ放送の利便性をさらに高めてほしい。スポーツ番組が人気なのは確かだが、市内で音楽や演劇などの文化活動を行っている人々にもスポットを当てて紹介してほしい。（田中委員）

- ・ 気候変動による生態系の変化や山火事の発生など、環境問題は深刻化している。佐賀市内の避難所となる体育館等の冷房設置率の低さも課題である。

堀の水位コントロールなど定点カメラ映像は非常に役立っています。大規模災害時には社協や消防団が大きな頼りになるが、消防団のなり手不足などの問題もあり、地域活動・まちづくり協議会の支援や AI・ネットの双方向活用の推進が重要になります。

（福田委員長）

以上、コミュニティチャンネルに関する活発なご意見をいただき有難うございました。

今後もぶんぶんテレビでは充実した自主制作番組作りに取り組んでまいります。

以上  
文責：中尾